

### 3. 生涯学習に対するイメージ

回答者が抱いている、生涯学習に対するイメージをみたのが、図5である。

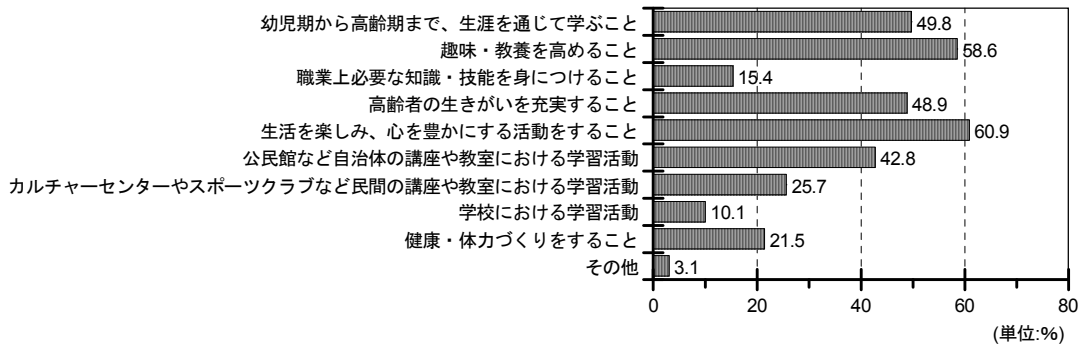


図5 生涯学習のイメージ

その結果、生涯学習に対するイメージとしては、「生活を楽しむ、心を豊かにする活動をする事」をあげた人の率が、60.9%でもっとも高く、次いで「趣味・教養を高める事 (58.6%)」、「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶ事 (49.8%)」の順となっていた。

これを性別にみたのが、図6である。

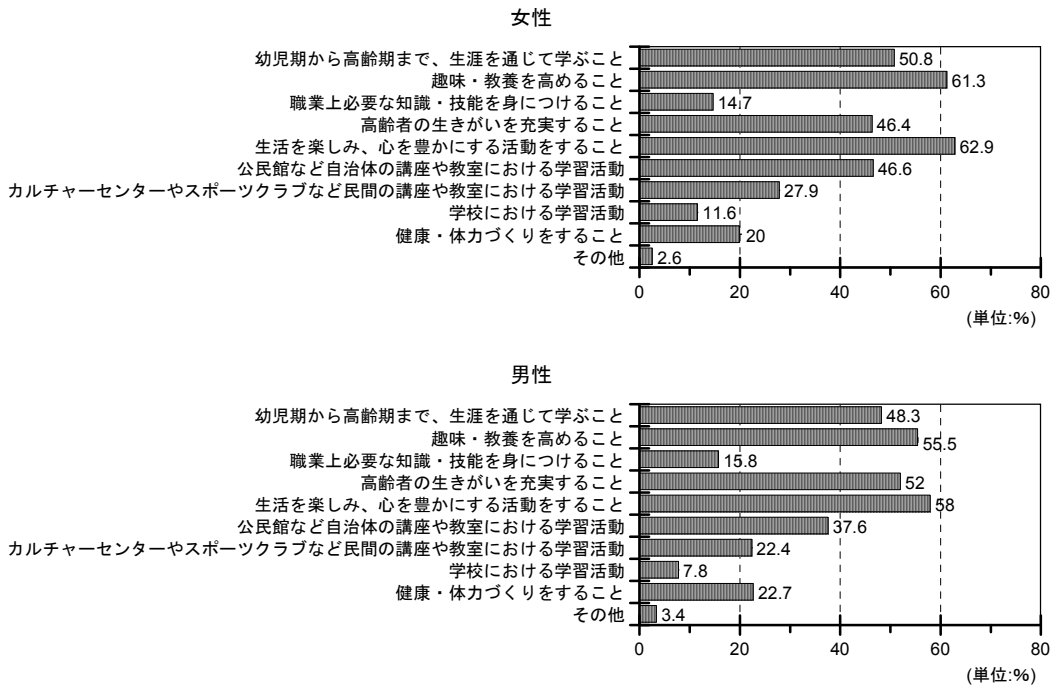


図6 性別にみた生涯学習に対するイメージ

その結果、男女とも、「生活を楽しむ、心を豊かにする活動をする事」をあげた人の率がもっとも高く、次いで「趣味・教養を高める事」であることは共通していたが、次いで「女性」では「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶ事」、「男性」では「高齢者の生きがい充実」こととなっていた。

相対的にみると、「趣味・教養を高めること」、「公民館など自治体の講座や教室における学習活動」、「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室における学習活動」では「女性」の、「高齢者の生きがいを充実すること」では「男性」の率が高くなっていた。

また、年代別にみたのが、図7である。

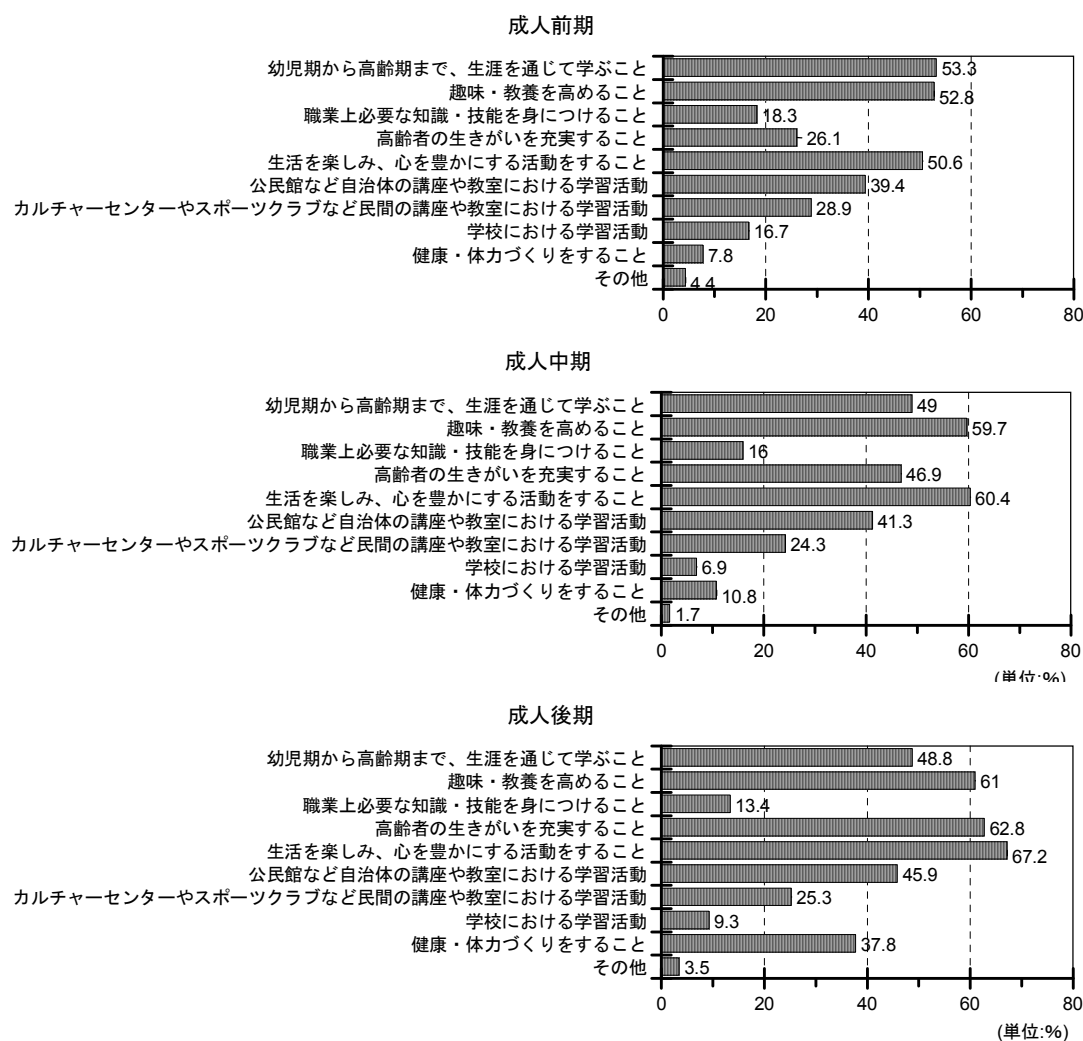


図7 年代別にみた生涯学習に対するイメージ

その結果、「成人前期」の人では、「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと」をあげた人の率ももっとも高く、次いで「趣味・教養を高めること」、「生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする」の順となっていた。一方、「成人中・後期」の人では、「生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする」をあげた人の率ももっとも高いことは共通していたが、次いで「成人中期」の人では「趣味・教養を高めること」、「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと」の順、「成人後期」の人では「高齢者の生きがいを充実すること」、「趣味・教養を高めること」の順となっていた。

相対的にみると、「学校における学習活動」では「成人前期」の人の、「趣味・教養を高めること」では「成人中・後期」の人の、「生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする」、「高齢者の生きがいを充実すること」、「健康・体力づくりをする」では「成人後期」の人の率が高くなっていた。